

平成26年度 産業建設部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
産業建設部長 出射 正	<p>●使命 私たち産業建設部は、市民が安心して暮らすことができるよう生活基盤となるインフラの整備や産業の活性化を積極的に進めます。また、若者が就業できるよう地域産業の支援や企業誘致を積極的に進めていきます。</p> <p>●基本方針 ①河川、高潮、住宅の耐震化等の防災対策事業を計画的に実施します。 ②生活道路等の年次的な整備を促進します。 ③若者定住に向けた地域産業の活性化支援、企業誘致を促進します。 ④地域特産品の開発及びブランド化、農林水産業の基盤整備を推進します。 ⑤商工観光の活性化に向けた事業を推進します。</p>	所管課	建設課・産業振興課・企業立地課		
		人員	正職員	臨時職員	合計
			30人	7人	37人
		一般会計	2,262,359 千円		
		特別会計	461,531 千円		
		計	2,723,890 千円		
		(うち正職員人件費)	(205,981 千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	<p>農業水利施設及び住宅の耐震化推進</p> <p>農業水利施設のため池や農道橋が地震によって損壊することにより、農用地、農業施設はもとより、地域住民の生命、財産、公共施設にも甚大な被害が発生するおそれがあります。このため、土地改良施設の点検・調査し、耐震設計及び補強工事を実施します。</p> <p>また、住宅についても、住宅耐震診断・補強計画、耐震工事を推進することにより、災害の未然防止や被害の軽減を図ります。</p>	<p>受益が2ha未満のため池91池の一斉点検を実施します。また、平成25年度に点検をした受益が2ha以上のため池167箇所から2か所の耐震設計を実施します。</p> <p>農道橋1橋の長寿命化を実施します。</p> <p>住宅の耐震診断、補強計画、補強工事に対する補助金を交付します。</p> <p>(木造住宅) 耐震診断22件 補強計画22件 補強工事5件</p>	<p>受益が2ha未満のため池81箇所の一斉点検を7月11日に契約、10月31日に完成予定。受益が2ha以上のため池2か所の耐震設計を10月入札・契約予定です。</p> <p>農道橋1橋の長寿命化は県営の耐震設計（今年度）が完了後行います。</p> <p>(木造住宅) 耐震診断5件、補強計画5件、補強工事1件補助金交付済み。</p>	<p>受益が2ha未満のため池の一斉点検が10/31に完成し82箇所点検。受益が2ha以上のため池2か所の耐震設計を10/16契約、2/27完成予定です。</p> <p>農道橋1橋の長寿命化は県営の耐震設計が完了、年度内工事発注予定です。県営耐震工事が完了後、平成27年度に実施します。</p> <p>(木造住宅) 耐震診断6件、補強計画4件、補強工事1件補助金交付済み。</p>	<p>受益が2ha未満のため池81箇所の一斉点検を10/31完成82箇所。受益が2ha以上のため池2か所の耐震設計を10/16契約、2/27完成。</p> <p>農道橋1橋の長寿命化は県営の耐震設計が完了、年度内工事発注繰越。県営耐震工事が完了後、平成27年度に実施します。</p> <p>(木造住宅) 耐震診断6件、補強計画4件、補強工事2件補助金交付済み。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2 生活道路等の整備	地域の活動や市民の生活に最も密着する生活道路の維持補修や改修整備などを促進し、安全安心な地域づくりを推進していきます。また、まちづくりに必要な道路の整備を進めます。	市道道路改良工事では、舗装、修繕を含め20路線を実施します。 生活道路維持補修等では、要望書に基づいた迅速な対応と、要望に対する実施率60%以上を目指します。 豆田工業団地線の早期着手を目指します。	市道道路改良工事では、舗装、修繕を含め10路線発注済みです。 生活道路維持補修等では、要望書に基づき緊急性のあるものは100%実施しました。現在修繕工事6件、修繕業務24件、維持管理6件、直轄対応36件を実施しています。 豆田工業団地線については地権者1名の買収が済み次第着手します。	市道道路改良工事では、舗装、修繕を含め18路線発注済み。 生活道路維持補修等では、要望書に基づき緊急性のあるものは100%実施。現在修繕工事9件、修繕業務37件、維持管理11件、直轄対応60件を実施しています。 豆田工業団地線については地権者1名の買収が済み次第着手します。	市道道路改良工事では、舗装、修繕を含め18路線発注。(内13路線完成、5路線繰越)生活道路維持補修等では、要望書に基づき緊急性のあるものは100%実施。現在修繕工事9件、修繕業務45件、維持管理12件、直轄対応80件を実施しております。 豆田工業団地線については地権者1名の買収が年度内にできず、繰越。買収が済み次第着手します。

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	<p>企業誘致の促進</p> <p>地域活性化策として、農村地域工業等導入促進地区を中心に企業進出に必要な工業団地を新たに整備し、積極的に優良企業の誘致を促進します。</p> <p>就業希望者への雇用機会の拡大を図り、固定資産税等の市税増収による自主財源の確保を目指します。</p>	<p>豆田工業団地の早期完成に向けて、地元調整及び整備事業に取り組みます。</p> <p>あわせて、市民の働く場を確保できるような優良企業の誘致に努めます。</p>	<p>工業団地の造成工事については、豆田工業団地線との工事連携を図りながら支障のないところから順次造成工事に着手しています。現在、3割程度の造成が完了しています。</p> <p>工業団地の早期分譲を目標に企業への情報発信を継続的に行っています。</p>	<p>豆田工業団地の造成工事に関しては、分譲予定面積約5㍍のうち、約2㍍、4割程度の造成が現時点で完了しています。</p> <p>優良企業の誘致に向けて、引き続き情報の収集と発信を行っていきます。</p>	<p>地権者との交渉も進み、あと1件を残すのみとなりました。事業の同意は得られているため、あとは相続協議を待つのみ。</p> <p>造成に必要な土砂の確保も順調に進んでおります。あとは、住居の立ち退きが済みしだい造成工事を進めて行きます。</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	<p>黒田官兵衛をはじめとした観光対策の強化</p> <p>本年放送されている大河ドラマ「軍師官兵衛」をはじめとした観光対策を強化します。</p> <p>地域特産品の商品化に向けて、開発を進めます。</p>	<p>各種のPR等を行い、備前福岡地区の誘客数を平成24年度実績3,400人から2万人に増やします。</p> <p>瀬戸内市内各地をめぐる観光モデルコースの普及に努めます。</p> <p>ブランド商品の対象品目を3品目増やします。</p> <p>商工業者の動向把握により新たな取組につなげます。</p>	<p>誘客数 16,682人 (備前福岡郷土館・仲崎邸 他) 前年に比較し大幅に増加しています。</p> <p>コースリニューアルをしながら普及に努めています。岡山市と連携して官兵衛ゆかりの地をめぐるコースのパンフレットを作成し、配布しました。</p> <p>5件の応募あり、3品目を承認し補助金を支出しました。</p> <p>未着手</p>	<p>誘客数 30,198人 (福岡郷土資料館・仲崎邸 他)</p> <p>岡山市、JR、備前県民局と連携し、ターゲットを絞りこんだコースの作成、提示に努めました。</p> <p>5件の応募があり、3品目承認済</p> <p>商工業者の雇用状況調査の準備中 選定基準 従業員数10名以上 対象事業者 125 件の企業(法人)</p>	<p>誘客 33,219人 (福岡郷土資料館・仲崎邸 他) JR、県、観光事業者と連携し、観光資源の掘り起こし、誘客に努めた。 DCに向けて関係機関と協議中。</p> <p>ギョギョ天、手ぬぐい、ママポリ(いずれも仮称)を承認、補助金を支給。</p> <p>雇用状況調査結果 郵送分 125 事業所 回答分 93 事業所</p> <p>瀬戸内市内事業者 雇用総数 7,471 人 従業員総数に占める瀬戸内市民の数 1,834 人</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
5	<p>農業をはじめとした地域産業の活性化</p> <p>市内の耕作放棄地を復旧するとともに、復旧した農地に新規就農者をはじめとした農業者の活用を促します。</p> <p>また、近年被害が増加している鳥獣被害の防止を図るため、対策を強化します。</p>	<p>国庫事業等を活用し、耕作放棄地の年間活用面積を5ha増加します。</p> <p>国庫事業等を活用し、新規就農者（平成25年度実績5名）を支援するとともに、新規参入する企業の支援を行います。</p> <p>狩猟免許の取得に対する助成を行います。</p>	<p>2.5ha 再生予定の内 実績 0.3ha 再生活用</p> <p>新規就農者 2名</p> <p>狩猟免許新規合格者5名</p>	<p>実績 0.3ha（長浜）</p> <p>新規就農者 準備型 2名 開始型 2名 青年就農型 2名 の支援を行っていま す。</p> <p>補助金助成 5名 第2種銃猟狩猟免許 1名 わな猟狩猟免許 4名</p>	<p>実績 0.44ha を再生</p> <p>長浜栗利郷 0.30ha 鹿忍 0.14ha</p> <p>新規就農者 準備型 2名 開始型 2名 青年就農型 2名 の支援を行った。</p> <p>補助金助成 5名 第2種銃猟狩猟免許 1名 わな猟狩猟免許 4名</p>